

神経センター

神経内科

北野病院神経内科は日本神経学会認定教育施設であり、精神疾患を除くすべての中枢神経疾患、末梢神経疾患、筋疾患の診療を行っている。脳血管障害、急性意識障害については脳神経外科と共同で脳卒中センターを構成し、神経専門医が24時間体制で脳卒中患者の診断・治療を行っている。放射線科の協力により緊急患者に対しては夜間や休日でも頭部MRIが撮影できる体制があり、急性期脳梗塞に対する血栓溶解療法(t-PA治療)も適応を厳密に判断した上でを行っている。またパーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、重症筋無力症などの神経難病患者の受診数が関西で最も多い施設であり、パーキンソン病については薬物療法に加え脳神経外科と共同で手術的治療(定位脳手術:視床下核脳深部刺激術など)を行い良好な成績を得ている。重症筋無力症については胸部外科と協力して手術適応例について胸腺・胸腺腫摘出術を行っており、周術期の薬物治療を神経内科が担当し良好な成績を得ている。さらに認知症、てんかんの診断、治療、末梢神経疾患(CIDPなど)に対するγグロブリン療法など多岐にわたる神経疾患の治療で効果を上げている。教育啓蒙活動としては、毎年春には平野朝雄教授の神経病理セミナー、冬には松本部長のビデオセミナーを開催している。医学研究所では神経変性疾患の分子病理学的研究やパーキンソン病培養細胞モデルを用いた神経科学的研究を行っている。

体制

神経センター センター長・神経内科部長

松本禎之

専門: 神経内科全般

資格等: 京都大学医学博士、京都大学臨床教授(神経内科学)、関西医科大学臨床教授(神経内科学)、日本神経学会評議員、日本神経病理学会評議員、日本神経学会専門医、日本脳卒中学会専門医

副部長

近藤誉之

専門: 神経免疫学, 臨床神経学

資格等: 日本内科学会認定医, 日本神経学会専門医, 日本認知症学会専門医 医薬品医療機器総合機構専門委員, 京都大学臨床准教授, 日本神経免疫学会評議員

副部長

里井斉

専門: 神経内科全般

資格等: 日本神経学会専門医, 日本脳卒中学会専門医, 日本内科学会認定医

副部長

斎木英資

専門: パーキンソン病、パーキンソン病の定位脳手術

資格等: 日本神経学会専門医、日本内科学会認定医

副部長

尾崎彰彦

専門: 神経内科全般, 脳梗塞の再発予防の指導, 認知症診断, パーキンソン病の薬物治療, 若年者の片頭痛

資格等: 京都大学医学博士、日本神経学会専門医、日本内科学会認定医、日本内科学会専門医

副部長

高橋牧郎

専門：神経内科、内科、老年科全般、アルツハイマー病、パーキンソン病
資格等：京都大学医学博士、日本神経学会専門医、日本内科学会認定医
日本内科学会専門医、指導医、日本老年学会専門医、指導医
米国 Mayo Clinic Smith Fellow Scholarship

レジデント

永田理絵 資格等：日本内科学会認定医

宮原淳一

朝山知子 資格等：日本内科学会認定医

雑賀玲子

永井之暢

診療実績

主要神経疾患	年間入院患者数	平均在院日数
脳梗塞	280	21.5
パーキンソン病／症候群	192	24.6
運動ニューロン疾患	37	14.2
脊髄小脳変性症	25	12.4
重症筋無力症	29	18.9
多発性硬化症	67	20.0
認知症疾患	96	11.3

研究課題：

パーキンソン病に対する STN-DBS の適応判定手法に関する検討（斎木英資）
非 AIDS のクリプトコッカス髄膜炎に併発する脳梗塞症例の検討（尾崎彰彦）
神経変性疾患脳におけるタウ、シヌクレイン新規リン酸化キナーゼの同定と蛋白蓄積機構の解明（高橋牧郎、科研費研究課題）
早期アルツハイマー病に対する β アミロイドモノクローナル抗体療法治験による臨床的効果の解析、検討（高橋牧郎・松本禎之）
I123-MIBG 心筋シンチグラフィによるパーキンソン病とその類縁疾患鑑別への有用性の検討（高橋牧郎）

研究実績

論文発表

1. Fujita M, Komatsu K, Hatachi S, Yagita M. Reversible posterior leukoencephalopathy syndrome in a patient with Takayasu arteritis. Mod Rheumatol. 2008; Jun 28.
2. 齊藤聡、小松研一、高橋牧郎、金子鋭、松本禎之。脳底部から中大脳動脈に特徴的な MRI 造影効果を呈した結核性髄膜炎の一例。神経内科，69（2）：177-179，2008.
3. 高橋牧郎、永田理絵、尾崎彰彦、金子鋭、斎木英資、松本禎之。不全型 CREST 症候群に複数の自己免疫疾患を合併し、非連続性多発脊髄病変を呈した抗 AQP4 抗体陽性再発性脊髄炎の一例。臨床神経学 49：115-118，2009.

【論文 Review】

Reviewer；Makio Takahashi

[Bar-On P, Crews L, Koob AO, Mizuno H, Adame A, Spencer B, Masliah E.](#)

Statins reduce neuronal alpha-synuclein aggregation in in vitro models of Parkinson's disease. J Neurochem. 2008

著作物

1. 金子鋭 大脳基底核神経回路と DBS Pharma Medica 2008 Vol.26 (Suppl.1) :16-24 メディカルレビュー社
2. 高橋牧郎、永田理絵 : Neuromyelitis Optica; 目で見るとレーニング, Medicina 45 巻 No.7, 1343-46, 医学書院, 東京, 2008.
3. 高橋牧郎、小松研一 : Reversible Posterior Leukoencephalopathy syndrome; 目で見るとレーニング, Medicina 45 巻 No.9, 1699-1702, 医学書院, 東京, 2008.
4. 高橋牧郎、永田理絵 : Leigh's encephalopathy; 目で見るとレーニング, Medicina 45 巻 No.11, 2097-2100, 医学書院, 東京, 2008.
5. 高橋牧郎、松本禎之 : II. 緊急時の神経症候とその対処法 2. めまい; 神経疾患最新の治療 2009-2011、水沢英洋、小林祥泰 編, pp37-41, 南江堂、東京, 2008.
6. 高橋牧郎. 神経内科領域での嚥下障害の評価法について. Medicina 46 巻 No.2, 264-267, 医学書院, 東京, 2008.
7. 高橋牧郎、松本禎之. 脳神経疾患と失神の関連; 失神を究める. pp198-208, Medical View, 東京, 2009.
8. 斎木英資. Pharmacological therapy after STN-DBS. 内服治療と外科治療を融合して—どうしたら皆が幸せになれる?—. Parma Medica vol.26(Suppl.3)pp52-61, 2008.

学会・研究会発表、講演講演

1. 斎木英資 パーキンソン病とパーキンソン症候群 —病態と治療—滋賀県長浜保健所難病従事者研修会 2008-01-19
2. 斎木英資 外科的治療法を併用した時のロピニロールの臨床経験 大阪レキップ発売 1周年記念講演会 2008-02-02
3. 高橋牧郎. パーキンソン病の病態と治療. ビデオでみる神経内科セミナー 2008-2-10, 大阪
4. 高橋牧郎. パーキンソン病培養細胞モデルにおける a-synuclein リン酸化、凝集、分解機構の解明。2008年3月22日 : Mayo Neuroscience Forum, 京都
5. 小松研一、酒井靖子、永田理絵、長島正人、山根木美貴、高橋牧郎、金子鋭、斎木英資、松本禎之 数日の経過で両上肢の筋力低下を呈した66歳男性 第104回「大阪神経内科の集い」2008-02-06
6. 松本禎之、高橋牧郎. ビデオでみる神経内科セミナー 2008-2-10, 大阪
7. 藤本健一、沖山亮一、鈴木裕、斎木英資 PDにおけるDBSの光と影 —最近の知見と今後の展望—パーキンソン病の学術情報誌『とれもろ』第62号座談会 2008-02-16
8. 斎木英資 Toward better integration: electrical and pharmacological modulation 第2回薬物療法と機能外科の融合PDシンポジウム 2008-02-23
9. 小松 研一、斎藤 聡、酒井 靖子、永田 理絵、長島 正人、山根木 美貴、小坂 理、高橋 牧郎、金子 鋭、斎木 英資、松本 禎之、数日の経過で両上肢の筋力低下を呈した66歳男性 2008-3-11、第104回大阪神経内科のつどい、大阪
10. 斎木英資 Neuro-modulation therapy パーキンソン病 基礎と臨床の最前線 2008-03-15
11. 高橋牧郎 パーキンソン病培養細胞モデルにおける a-synuclein リン酸化、凝集、分解機構の解明。2008-3-22 : Mayo Neuroscience Forum, 京都
12. 高橋牧郎、Li-Wen Ko, Jayanarayan Kulathingal, Peizhou Ziang, Daniel Sevlever, Shu-Hui C. Yen、パーキンソン病培養細胞モデルにおける酸化ストレスと a-synuclein リン酸化、凝集、分解機構の解明第49回日本神経学会総会、2008-5-16、横浜

13. 斉藤聡、永田理絵、酒井靖子、宮原淳一、山根木美貴、高橋牧郎、尾崎彰彦、金子鋭、齋木英資、松本禎之。発熱、意識障害を呈した一症例。2008-7-2、第105回大阪神経内科の集い、大阪
14. 尾崎彰彦。認知症の診断と治療。大正区港区医師会講演会，2008-9-26，大阪
15. 永田理絵、高橋牧郎、斉藤聡、酒井靖子、宮原淳一、山根木美貴、尾崎彰彦、金子鋭、齋木英資、松本禎之。右頬の異常感覚と複視を呈した33歳男性。第106回大阪神経内科の集い、2008-11-5、大阪
16. 高橋牧郎。認知症の病態生理と治療の展望。2009-1-28、北区認知症研究会、大阪
17. 高橋牧郎。パーキンソン病の病態と治療。ビデオでみる神経内科セミナー 2009-2-8、大阪
18. 尾崎彰彦、斉藤聡、山根木美貴、高橋牧郎、松本禎之。非AIDSのクリプトコッカス髄膜炎に併発した脳梗塞の3例。2009-3-20、第34回日本脳卒中学会総会、松江
19. 高橋牧郎、小松研一、太田剛史、藤田昌昭、旗智さおり、八木田正人、松本禎之。高安病の経過中に頭痛、血圧上昇、痙攣重積発作をきたしたRPLSの一例。2009-3-20、第34回日本脳卒中学会総会、松江
20. 齋木英資、永田理絵、山根木美貴、林英樹、西田南海子、戸田弘紀、高橋潤、上田敬太、尾崎彰彦、高橋牧郎、松本禎之。パーキンソン病に対するSTN-DBSの適応判定手法に関する検討。2009-5-20、第50回日本神経学会総会、仙台。
21. 尾崎彰彦、斉藤聡、永田理絵、宮原淳一、早川隆、酒井靖子、山根木美貴、高橋牧郎、齋木英資、松本禎之。葉酸低下を伴う認知症例の検討。2009-5-20、第50回日本神経学会総会、仙台。
22. 斉藤聡、山根木美貴、高橋牧郎、尾崎彰彦、齋木英資、松本禎之。Non-HIV Cryptococcal meningitisでのLiposomal Amphotericin B治療効果の検討。2009-5-20、第50回日本神経学会総会、仙台。パーキンソン病に対するSTN-DBS後の幻覚妄想に関する検討
23. 永田理絵、齋木英資、山根木美貴、林英樹、西田南海子、戸田弘紀、高橋潤、上田敬太、小松研一、尾崎彰彦、高橋牧郎、松本禎之 2009-5-20、第50回日本神経学会総会、仙台。
24. 山根木美貴、齋木英資、永田理絵、林英樹、西田南海子、戸田弘紀、高橋潤、上田敬太、尾崎彰彦、高橋牧郎、松本禎之。病的賭博を有するパーキンソン病患者に対するSTN-DBSの検討。2009-5-20、第50回日本神経学会総会、仙台。
25. 酒井靖子、齋木英資、金子鋭、高橋牧郎、尾崎彰彦、松本禎之。パーキンソン病に対するCOMT阻害剤の効果の検討。2009-5-20、第50回日本神経学会総会、仙台。
26. 高橋牧郎、尾崎彰彦、齋木英資、松本禎之。パーキンソン病とその類縁疾患の鑑別におけるMIBG心筋シンチ有用性の検討。2009-5-20、第50回日本神経学会総会、仙台。
27. 松本禎之 平野朝雄教授神経病理セミナー： 2009-5-29~31、大阪
28. 高橋牧郎。脊髄小脳変性症の病態と治療の展望。堺市難病支援ネットワーク協議会、講演会。2009-6.16、堺。
29. 永田理絵、高橋牧郎、松本禎之、武井宗展、高橋幸利、池田昭夫。非定型精神運動発作が遷延した抗グルタミン酸受容体(GluR) ϵ 2抗体陽性の非ヘルペス性辺縁系脳炎の一例。第90回日本神経学会近畿地方会。2009-6-20、大阪
30. 永田理絵、高橋牧郎、雑賀玲子、永井之暢、宮原淳一、朝山知子、尾崎彰彦、齋木英資、近藤誉之、里井斉、松本禎之。頭痛、意識障害を伴う痙攣で発症した21歳男性。第108回大阪神経内科の集い、2009-7-1、大阪

脳神経外科

a. 体制

当該年度の特徴

当科は日本脳神経外科学会指定訓練施設として脳神経外科の各分野における専門医・専修医が臨床・教育・研究にあたっている。平成20年度は高橋潤部長が着任し、また新たに専門医2名（野々口、林）とレジデント3名（藤本、池堂、大村）が加わった。

臨床に関しては、脳卒中センターでは神経内科とともに6床の脳卒中ケアユニット（SCU）病床を活用し、脳卒中急性期治療にあたった。放射線科・麻酔科・手術室・集中治療室およびSCUを含めた神経疾患専門病棟の協力により夜間や休日でも頭部MRI・脳血管撮影の緊急検査および急性期脳卒中に対する血管内治療を含めた外科的治療を行える体制を維持した。

また脳腫瘍センターとして放射線科、神経内科、小児科、病理部からなる多科専門医との連携により集学的治療を継続した。また研究会として「脳腫瘍2008」を企画した。

さらに機能外科では、三叉神経痛、顔面痙攣、難治性疼痛に対する外科的治療に加えて、神経内科と共同してパーキンソン病、本態性振戦などの不随意運動疾患に対する脳深部刺激療法を行ない地域の基幹施設としての役割を果たした。

脊椎・脊髄外科では頸椎症例を中心に手術症例数が増加している。

次に研究では、頭蓋底手術、脳腫瘍、脳血管障害、パーキンソン病、脊椎疾患に対する臨床研究及び脳深部刺激療法に関する睡眠や神経新生への影響や神経再生に関する基礎研究を科研費を獲得して行なった。

最後に教育に関しては、現行のレジデントシステムの3年目にあたり、シニアレジデントによるレジデント回診、ジュニアスタッフによるカンファレンス運営、さらに高橋部長によるビデオカンファレンスなどディスカッションできる環境を整えた上で、病棟管理や手術を通じた教育的機会を増やすようところがけた。

体制

神経センター副センター長 脳神経外科部長

高橋 潤（2008年4月1日より：京都大学脳神経外科から着任）

脳動脈瘤（手術治療） 脳腫瘍 小児脳腫瘍 下垂体腺腫（先端巨大症） 頭蓋底手術

京都大学医学博士 京都大学非常勤講師 滋賀医科大学非常勤講師 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医 日本がん治療暫定教育医 京都大学医学部臨床教授

副部長

青木 友和

脳腫瘍 下垂体腫瘍 悪性腫瘍の化学療法 定位放射線治療 顔面痙攣 三叉神経痛
京都大学医学博士 京都大学非常勤講師 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医 日本がん治療暫定教育医 アメリカ癌治療学会会員

副部長

戸田 弘紀

機能的脳神経外科（パーキンソン病・本態性振戦・不随意運動・難治性疼痛・三叉神経痛・顔面痙攣） 脊椎・脊髄外科 脳卒中の外科的治療

京都大学医学博士 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医 北米脳神経外科学会臨床フェロー

Woeld Society of Stereotactic and Functional Neurosurgery（理事） The Movement Disorder Society（Task Force on Neurosurgery）

副部長

古瀬 元雅 (2008年9月30日まで：大阪医科大学脳神経外科へ転任)

副部長

太田 剛史

京都大学医学博士 日本脳神経外科学会専門医 日本脳血管内治療学会専門医 日本脳卒中学会専門医 脳血管障害 (脳血管内治療を含む)

副部長

野々口 直助 (2008年10月1日より：大阪医科大学脳神経外科から着任)

転移性脳腫瘍 定位放射線治療 脳腫瘍遺伝子診断

日本脳神経外科学会専門医 がん治療認定医 大阪医科大学非常勤講師

医員

西田 南海子

京都大学医学博士 日本脳神経外科学会専門医

水頭症・術中神経モニタリング

医員

林 英樹 (2008年4月1日より：京都大学脳神経外科から着任)

京都大学医学博士 日本脳神経外科専門医

脊椎・脊髄外科

レジデント

河緒 憲幸

藤本 浩一

池堂 太一

大村 知久

2) 非常勤医師

大脇 久敬

血管内治療

京都大学医学博士 日本脳神経外科学会専門医 日本脳血管内治療学会専門医

研究

再発悪性神経膠腫を対象とした Bevacizumab の第2相試験 (青木)

初発膠芽腫を対象とした Bevacizumab の第3相試験 (青木)

初発悪性神経膠腫及び再発膠芽腫を対象とした BCNU 除法剤 (第1・2相試験) (青木)

高磁場 MRI の脳深部刺激療法への応用 (戸田)

脳深部刺激による神経新生の誘導 (戸田)

回転 DSA を用いた脳血管撮像方法 (太田)

PD 睡眠障害に対する深部脳刺激治療の効果の解析 (西田)

神経内視鏡による脳室くも膜下腔の形態解析 (西田)

Wnt シグナルを利用した ES 細胞からドーパミン産生神経の誘導法の開発 (林)

b. 診療実績

臨床統計(2008.1.1-2008.12.31)

1	脳神経外科的手術の総数	434	(2)動静脈奇形	0
2	脳腫瘍		(3)変性疾患	
	(1)摘出術	87	①変形性脊椎症	21
	(2)生検術		②椎間板ヘルニア	2
	①開頭術	0	③後縦靭帯骨化症	3
	②定位手術	5	(4)脊髄空洞症	0
	(3)経蝶形骨銅手術	24	8 機能的手術	
	(4)広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術	5	(1)てんかん	0
3	脳血管障害		(2)不随意運動、頑痛症	
	(1)破裂動脈瘤	12	①刺激術	25
	(2)未破裂動脈瘤	37	②破壊術	1
	(3)脳動静脈奇形	4	(3)脳神経減圧術	56
	(4)頸動脈内膜剥離術	0	9 血管内手術	
	(5)バイパス手術	1	(1)総数	25
	(6)高血圧性脳内出血		(2)動脈瘤塞栓術	9
	①開頭血腫除去術	16	①破裂動脈瘤	1
	②定位手術	4	②未破裂動脈瘤	8
4	外傷		(3)動静脈奇形	1
	①急性硬膜外血腫	2	①脳	1
	②急性硬膜下血腫	7	②脊髄	0
	③減圧開頭術	0	(4)閉塞性脳血管障害	7
	④慢性硬膜下血腫	37	(内ステント使用例)	6
5	奇形		10 その他	28
	①頭蓋・脳	0		
	②脊髄・脊椎	1		
6	水頭症		11 脳定位的放射線治療	
	①脳室シャント術	27	(1)総数	32
	②内視鏡手術	2	(2)腫瘍	32
7	脊髄・脊椎		(3)脳動静脈奇形	0
	(1)腫瘍	2	(4)機能的疾患	0

学会・論文発表

(学会)

1. 西田南海子、青木友和、永野忠義、中平理恵、加賀野井純一、石川正恒 脳正中部に多発転移巣を示した妊娠中期乳癌の1症例 第55回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会 2008/4/5 (大阪)
2. 高橋 潤 神経膠腫(神経膠芽腫)の治療(シンポジウム) 第17回脳神経外科手術と機器学会 2008/04/11 (長崎)
3. 戸田弘紀 機能外科医から神経内科医への要望(講演) パーキンソン病DBS治療懇話会 2008/04/19 (大阪)
4. 高橋 潤 Diffuse astrocytoma の長期成績と悪性転化関連因子の検討(プレナリーセッション) 第28回日本脳神経外科コンgres 2008/05/09 (横浜)

5. 戸田弘紀 パーキンソン病に対する脳深部刺激療法（講演） 第28回日本脳神経外科
 コンgress 2008/05/11（横浜）
6. 戸田弘紀 Composite Targeting Method using High-Field Magnetic Resonance Imaging
 for Subthalamic Nucleus Deep Brain Stimulation American Society of
 Stereotactic and Functional Neurosurgery 2008/06/05（バンクーバー）
7. 戸田弘紀 脳深部刺激療法 合併症を避ける工夫（講演） 第2回順天堂DBS懇話会
 2008/06/06（東京）
8. Tomokazu Aoki, Tomohiko Mizutani, Kuniharu Nojima, Takehisa Takagi, Ryosuke
 Okumura, Yoshiaki Yuba, Tetsuya Ueba, Jun A Takahashi, Shin-Ichi
 Miyatake, Kazuhiko Nozaki, Waro Taki, Masao Matsutani Phase II study of
 Ifosfamide, carboplatin and etoposide (ICE) in patients with recurrent
 glioblastoma. The 17th International Conference on Brain Tumor Research and
 Therapy Meeting 2008/06/11（バルセロナ）
9. 戸田弘紀 Composite Targeting Method using High-Field Magnetic Resonance Imaging
 for Subthalamic Nucleus Deep Brain Stimulation 12th International Congress of
 Parkinson's Disease and Movement Disorders 2008/06/22（シカゴ）
10. Namiko Nishida, Hiroki Toda, Hidemoto Saiki, Keita Ueda, Sadayuki Matsumoto,
 Masatsune Ishikawa Effect of STN micro-lesioning on nocturnal disabilities of
 Parkinson's disease 12th International Congress of Parkinson's Disease and
 Movement Disorders 2008/06/22（シカゴ）
11. 高橋由紀、高橋潤 小脳腫瘍の一例 第253回荒木千里記念脳外科症例検討研
 究会 2008/08（大阪）
12. 野々口直助、宮武伸一、松下葉子、R. S. Coffin、黒岩敏彦 Cytosine deaminase 遺伝
 子を導入した腫瘍選択的複製不能型ヘルペス ウイルスベクターを用いた悪性グリオ
 ーマに対する治療研究 第9回日本分子脳神経外科学会 2008/08/30（京都）青木友和
 悪性グリオーマのスタンダードケア（教育講演） 第2回奈良脳腫瘍研究会 2008/09/05
 （奈良）
13. N. Nonoguchi, S. Kawabata, S. Miyatake, K. Iida, S. Miyata, K. Yokoyama, T. Kuroiwa,
 Y. Imahori, K. Ono Survival benefit from brain neutron capture therapy for newly
 14. diagnosed glioblastoma patients”
 EANO 2008 (8th meeting of European Association for NeuroOncology)（バルセロ
 ナ）
15. 藤本浩一、林英樹、戸田弘紀、高橋潤 頸椎椎弓形成術により間歇性跛行が改善した
 1例 第56回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会 2008/09/13（大阪）
16. 戸田弘紀、斎木英資、松本禎之、高橋潤 進行期パーキンソン病に対する視床下核手
 術における外科的合併症の予防 第56回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会
 2008/09/13（大阪）
17. 池堂太一、西田南海子、高橋潤 海綿静脈洞症候群を呈した転移性脳腫瘍の一例
 第56回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会 2008/09/13（大阪）
18. 大村知久、西田南海子、戸田弘紀、高橋潤 傍中心小葉悪性神経膠腫に対する機能
 温存手術 第68回近畿脳腫瘍研究会 2008/09/13（大阪）

19. 藤本浩一、林 英樹、西田南海子、太田剛史、戸田弘紀、青木友和、高橋 潤 頸椎椎弓形成術により間歇性跛行が改善した頸部脊柱管狭窄症の1例 第68回近畿脳腫瘍研究会 2008/09/13 (大阪)
20. 大村知久、高橋 潤 皮質マッピングと術中覚醒を手術支援に用いた傍中心小葉悪性神経膠腫の一例 第68回近畿脳腫瘍研究会 2008/09/13 (大阪)
21. 高橋 潤 GH下垂体腺腫の経蝶形骨洞法-再手術の工夫と術後早期寛解基準の効用- 第67回日本脳神経外科総会 2008/10/1-3 (盛岡)
22. 戸田弘紀、斎木英資、奥村 亮介、西田 南海子、林 英樹、松本禎之、高橋潤 視床下核脳深部刺激療法手術における高磁場MRIの有用性 第67回日本脳神経外科総会 2008/10/1-3 (盛岡)
23. 藤本浩一、太田剛史、古瀬元雅、戸田弘紀、青木友和、高橋 潤 椎骨脳底動脈系頭蓋内解離性動脈瘤の病型による分類(主に無症候性について) 第67回日本脳神経外科総会 2008/10/1-3 (盛岡)
24. Kelly D. Foote (座長)戸田弘紀 パーキンソン病に対する脳深部刺激療法: Complication prevention and troubleshooting. 第67回日本脳神経外科総会 2008/10/1-3 (盛岡)
25. 大村知久、高橋 潤 回転DSAを利用した頸動脈ステント留置術 -血管内エコーとの比較- 第67回日本脳神経外科総会 2008/10/1-3 (盛岡)
26. 太田剛史、高橋 潤、青木 友和、戸田 弘紀、古瀬 元雅 微小血管減圧術での外側後頭下開頭術 第67回日本脳神経外科総会 2008/10/1-3 (盛岡)
27. 林 英樹 Wnt シグナルを利用したES細胞からの神経誘導法の開発 第67回日本脳神経外科総会 2008/10/1-3 (盛岡)
28. 野々口直助、宮武伸一、池田直廉、宮田至朗、山下太郎、R. S. Coffin、黒岩敏彦 腫瘍選択的 oncolytic HSV ベクターを用いた悪性グリオーマに対する局所 化学療法および腫瘍溶解療法 第67回日本脳神経外科総会 2008/10/1-3 (盛岡)
29. 池堂太一、高橋潤、大村知久、河鱈憲幸、西田南海子、古瀬元雅、戸田弘紀 三叉神経周囲腫瘍に対する開頭術選択 第67回日本脳神経外科総会 2008/10/1-3 (盛岡)
30. 高橋由紀、高橋 潤 急速に増大を来したDysembryoplastic neuroepithelial tumorの一例 第254回荒木千里記念脳外科症例検討研究会 2008/10/4 (大阪)
31. 太田剛史、大村知久、大脇久敬、林英樹、高橋潤 三次元データを用いた頸動脈ステント留置術-血管内エコーとの比較- 第24回日本脳神経血管内治療学会総会 2008/11 (名古屋)
32. 西田南海子、戸田弘紀、斎木英資、村上登喜子、加堂邦裕、上田敬太、松本禎之、高橋 潤 パーキンソン病睡眠障害に対する深部脳刺激療法の影響 第38回日本臨床神経生理学会・学術大会 2008/11/12-14 (神戸)
33. 高橋由紀、高橋 潤 右心房血管肉腫原発と考えられた転移性小脳腫瘍の一例 脳神経外科学会 近畿地方会(第60回 近畿脳腫瘍研究会) 2008/11/13
34. 戸田弘紀 パーキンソン病治療-薬物治療・外科治療それぞれのできることを講演) パーキンソン病治療におけるDBS症例検討会 2008/11/15 (東京)
35. 青木友和、水谷朋彦、野島邦彦、上羽哲也、高橋潤 神経膠芽腫の効果判定について RECIST vs. WHO 第26回日本脳腫瘍学会 2008/12/1 (松山)

36. 西田南海子、河鱈憲幸、熊倉 啓、木崎善郎、光藤伸人、秦 大資、高橋 潤 特発性中枢性思春期早発症の加療中全身痙攣発作を併発し診断・加療に至った視床下部過誤腫の一例 第 32 回日本てんかん外科学会 2009/1/22-23 (東京)
37. 戸田弘紀 進行期パーキンソン病に対する視床下核刺激療法:片側手術と両側手術の比較 第 48 回日本定位・機能神経外科学会 (2009/1/23-24 東京)
38. 西田南海子、戸田弘紀、斎木英資、村上登喜子、加堂邦裕、上田敬太、松本禎之、高橋 潤 パーキンソン病睡眠障害に対する視床下核深部脳刺激治療の影響—特に REM スイッチへの作用の可能性— 第 48 回日本定位・機能神経外科学会 2009/1/23-24 (東京)
39. 西田南海子、河鱈憲幸、熊倉 啓、木崎善郎、光藤伸人、秦 大資、高橋 潤 特発性中枢性思春期早発症の加療中全身痙攣発作を併発し診断・加療に至った視床下部過誤腫の一例 第 19 回間脳下垂体腫瘍学会 2009/02/27-28 (東京)
40. 樋口直司、高橋 潤 開頭術に伴う予期せぬ出血 第 15 回臨床脳神経外科研究会 2009/02/27-03/01
41. 高橋由紀、高橋 潤 予期せぬ出血の検討 第 15 回臨床脳神経外科研究会 2009/02/27-03/01
42. 戸田弘紀 進行期パーキンソン病に対する脳深部刺激療法—合併症を避ける工夫— (教育講演) 第 26 回山梨脳神経外科懇話会 2009/06/13 (山梨)
43. 大村知久、西田南海子、林英樹、戸田弘紀、高橋潤 馬尾神経鞘腫に正常圧水頭症を合併した 1 例 第 59 回近畿脊髄外科研究会 2009/03/28 (大阪)
44. Tomokazu Aoki, Tomohiko Mizutani, Kuniharu Nojima, Takehisa Takagi, Ryosuke Okumura, Yoshiaki Yuba, Tetsuya Ueba, Jun A Takahashi, Shin-Ichi Miyatake, Kazuhiko Nozaki, Waro Taki, Masao Matsutani Phase II study of Ifosfamide, carboplatin and etoposide (ICE) in patients with recurrent glioblastoma. EORTC-EANO Conference 2009 2009/03/26 (Budapest)

(論文)

1. K Nozaki, K Kikuta, Y Takagi, Y Mineharu, JA Takahashi and N Hashimoto. Effect of early optic canal unroofing on the outcome of visual functions in surgery for meningiomas of the tuberculum sellae and planum sphenoidale. *Neurosurg.* 62(4):839-844, 2008
2. Y Kawabata, J A Takahashi, Y Arakawa, M Shirahata and N Hashimoto. Long term outcomes in patients with intracranial germinomas: single institution experience of irradiation with or without chemotherapy. *J Neurooncol* 88:161-167, 2008
3. ST Kawashima, T Usui, T Sano, H Iogawa, H Hagiwara, T Tamanaha, T Tagami, M Naruse, M Hojo, JA Takahashi, and A Shimatsu. P53 gene mutation in atypical corticotroph adenoma with Cushing's disease. *Clin. Endocrinol. (Oxf)* 70(4):656-657, 2008
4. M Furuse, T Aoki, T Takagi, JA Takahashi and M Ishikawa. Frameless stereotactic radiosurgery with a bite-plate: our experience with brain metastasis. *Minim Invas Neurosurg* 51:333-335, 2008

5. Tsuyoshi Ohta, Masanori Gomi, Hisayuki Oowaki and Masatsune Ishikawa. Chronic venous congestion following embolization of spinal dural arteriovenous fistula J Neurosurg Spine 9:186-190, 2008
6. Hiroki Toda, Clement Hamani, Adrian P Fawcett, William D Hutchison, Andres M Lozano The regulation of adult rodent hippocampal neurogenesis by deep brain stimulation. Journal of Neurosurgery 108(1):132-138, 2008
7. Nonoguchi N. and Miyatake S. Cellular therapy for stroke with bone marrow mesenchymal stem cells: how to enhance its therapeutic potency. Expert Review of Neurotherapeutics 2008 in press.
8. Miyatake SI, Kawabata S, Nonoguchi N, Yokoyama K, Kuroiwa T, Ono K. Pseudoprogression in boron neutron capture therapy for malignant gliomas and meningiomas. NeuroOncol. 2009 Mar 16 [Epub ahead of print]
9. Kawabata S, Miyatake S, Kuroiwa T, Yokoyama K, Doi A, Iida K, Miyata S, Nonoguchi N, Michiue H, Takahashi M, Inomata T, Imahori Y, Kirihata M, Sakurai Y, Maruhashi A, Kurmada H, Ono K Boron neutron capture therapy for newly diagnosed glioblastoma. J Radiat Res 50(1):51-60, 2009
10. 高橋 潤 Occipital transtentorial approachによる小脳腫瘍摘出の工夫 脳神経外科速報 18(2):170-180, 2008
11. 高橋 潤 Occipital transtentorial approachによる松果体腫瘍の工夫 脳神経外科速報 18(4):423-431, 2008
12. 太田剛史, 五味正憲, 鈴木孝征, 前川秀継, 西田南海子, 石川正恒 経橈骨動脈脳血管撮影の最近の改良と適応 脳神経外科速報 18(8):1018-1023, 2008
13. 戸田弘起 素顔のニューロサイエンティスト:Andres Lozano Clinical Neuroscience 26(1):106-107, 2008
14. 戸田弘紀 進行期パーキンソン病の治療:脳深部刺激療法における集学的アプローチ-神経内科・脳神経外科・精神科によるチーム医療の実践 Pharama Medica 26(suppl3):73-78, 2008
15. 戸田弘紀 神経新生と病態:ニッチ Clinical Neuroscience 26(8):850-852, 2008
16. 西田南海子, 齋木英資, 上田敬太, 松本禎之, 戸田弘紀, 石川正恒 パーキンソン病睡眠障害に対する視床下核深部脳刺激治療の影響 機能的脳神経外科 47(1):86-87, 2008
17. 前川秀継, 戸田弘紀, 青木友和, 石川正恒 Bevacizumab/irinotecan 併用療法が著効した再発膠芽腫の1例 脳神経外科ジャーナル 18(2):145-150, 2009

(出版)

1. 高橋 潤 圧迫性視神経症の最新治療、C. 下垂体腫瘍、in 臨床神経眼科学 p 333-337、2008 柏井 聡編 金原出版
2. 青木友和 temozolomide (TMZ) 不応性腫瘍の治療 (海外レビュー) 脳 21 12 (1): 55-60、2009、金芳堂
3. 野々口直助 ナースの脳神経外科学 黒岩敏彦編著 中外医学社 (2008年10月初版、共同執筆者)
4. 宮武伸一、野々口直助、川端信司、黒岩敏彦 "Pseudoprogression" と「ホウ素中性子捕捉療法」(特集:グリオーマの最新の基礎研究と治療法 脳 21 12 (1) (雑誌: 2009年1月発行) 金芳堂